

足助とつながる情報誌

あすけ通信

2023年

11月発行

44

蘇る戦国の山城、足助城

あすこ紹介

深見喜代春さん、禎宏さん、洸成さん、匡伸さん

足助のプロジェクト紹介

萩野 NPO 結の家

読者のみなさんの“声”

蘇る戦国の山城、足助城

今年、再建30周年を迎えた足助城。今年のNHK大河ドラマでも取り上げられ、Googleの口コミデータを基に作成された「愛知県で人気の城・城跡ランキング」では常に上位に入るほど、今注目を集めています。

戦国時代、今川、武田、徳川の間で激しい争奪戦の舞台となった足助城。今では四季折々の景色を楽しませてくれます。(鈴木悠太)



足助城HP



後列(左) 洸成さん、(右) 禎宏さん
前列(左) 喜代春さん、(右) 匡伸さん

前号(第43号)に引き続き、開校150周年を迎える小学校のうち、明治6年(1873年)に小學御蔵學校として開設されて以来150年を迎える、御蔵小学校を特集します。今回は、3世代に渡って御蔵小学校を学び舎としてきた深見^{きよはる}喜代春さん(76歳・昭和34年卒業)、^{よしひろ}禎宏さん(50歳・昭和62年卒業)、^{こうせい}洸成さん(16歳・令和元年卒業)、^{まさのぶ}匡伸さん(13歳・令和5年卒業)ご家族に、御蔵小学校の思い出をお聞きました。

■同級生は何人でしたか？

喜代春さん 全校生徒が159人で、同級生は30人でした。

禎宏さん 私ときは全校生徒が36人で、同級生は10人でした。洸成は全校27人で同級生4人、匡伸は全校20人で同級生は7人でしたね。現在の御蔵小学校は各学年3人で全校18人です。

■小学校ではどんなことをして遊びましたか？

喜代春さん お宮さんに昔芝居をしたすばらしい舞台があって、そこでチャンバラをやっていました。縁の下や2階でも遊びました。夏は川で遊んだね。

禎宏さん 子ども会でソフトボールや卓球をやりました。自転車や川でも遊びました。ファミコンが出てからは、持っている子家でゲームばかりでした。

洸成さん 鬼ごっこ、サッカーなどで遊んでいました。ミニバスの大会のときに、卒業した先輩たちが教えに来てくれたことが思い出に残っています。

禎宏さん 私が子ども会でフットサルの監督をやったときにも、先輩たちが来てくれましたね。フットサルは、足助地区の大会で優勝して、豊田スタジアムの大会に出場したこともあります。

匡伸さん 仲がいい子とチャンバラをしていました。コロナが広がってからは家でゲーム。コロナが収まってきたら友達とカードゲームで遊びました。



深見さんご家族

■給食の思い出を聞かせてください。

喜代春さん 給食があったような気もするのだけでも、ストーブの上に弁当を置いて温めたのを覚えています。あれは中学校だったかな？

禎宏さん 2年生の頃から、足助中学校に給食センターができました。それから、給食の調理室がランチルームになって、全校でいっしょに食べました。

洸成さん 年に何回か、おかずとデザートを選べるセレクト給食がありました。クリスマスはチキンが出てきたりして豪華でした。

匡伸さん コロナのときは、ランチルームで全校いっしょに食べるのがなくなって、教室で食べていました。



天狗岩（自治区イベントチラシより）



横山峰太郎先生碑

■遠足の思い出を教えてください。

喜代春さん 遠足は、旭の笹戸ですね。東山動物園や香嵐渓も行きました。

禎宏さん 遠足ではないですが、御蔵のシンボルである天狗岩に登って怖かったことや、円山城に登ったこと、校庭でキャンプをしたことを覚えています。

喜代春さん 円山城の城跡は、堀切も廓もしっかり残っています。

洸成さん 都市体験学習で、6年生のときには名古屋へ行きました。自由行動で、大須に行ったり、名古屋港水族館に行ったりしました。御蔵小、大蔵小、新盛小で集合学習があって、自分たちでイベントを企画して面白かったです。

禎宏さん 集合学習は、僕らの頃にはじまりました。あの頃は、御蔵小、新盛小、佐切小、冷田小だったと思います。

匡伸さん 兄と同じように名古屋の大須に行ってタピオカを食べたりしました。6年生のときにはお別れ遠足があって、稲武のどんぐりの湯に行きました。

大正5年竣工 旧校舎



■小学校の時代の印象深い思い出は？

喜代春さん 運動会の字別対抗リレーは、みんな真剣で面白かったですね。

禎宏さん 前の木造校舎に愛着があって、印象に残っています。

■御蔵小学校の150年という歴史に何を感じますか？

喜代春さん 御蔵小学校には『横山峰太郎先生碑』と彫られた大きな石碑があります。でも、それがどういう人なのか知られてなかったのですが、150周年事業の調査で分かって脚光を浴びました。学校建設の重要性を訴え、私財を投げ打って御蔵小学校を作ったそうです。

禎宏さん 自治会長さんと話す機会もあって、子どもの減少の深刻さを実感しています。強制はできませんが、できるだけ残ってもらって過疎化を抑制できたらいいなという願いを込めて、150周年の役員をやらせてもらっています。

（高木伸泰）

平成10年竣工 新校舎



昭和18年 2階校舎増築





足助のプロジェクト紹介 萩野 NPO 結の家

住所：豊田市川面町上貝戸怒田沢橋角

FaceBook：

<https://m.facebook.com/groups/388437961887774/>

facebook



香嵐溪から車で東へ10分、怒田沢橋の脇、自然に囲まれた中に「萩野NPO結の家」の工房がある。「トンカン木工塾」や様々な講習や学習会、音楽会などの交流に使われている。

地域に関心のある様々な仲間たちとの取組みは、①「空き家」「空き地」に新しい家族を受け入れよう!②森林や田畑の保全を手伝ってもらえる仲間を迎えよう!③「こんなことがしたい」「これが大事だ」と思ったら自分たちでプロジェクトをたちあげよう!を目指して、2019年から活動を始めている。中心メンバーの山本薫久さん、島好常さん、河合定泉さんたちは、「地域のために大事だと思ったことは、自分たちで取組んでいこう」という思いで様々な取組みのサポートを行っている。

様々な仲間たちで立ち上げた取組みは、「移住定住連絡会」、大工道具の扱い方や小屋づくりの実践を学べる「トンカン木工塾」、有志のグループで田んぼを保全する取組み、地域の山の間伐を行う「半農半林塾」、醤油を作る取組みなど

様々だ。地域の方々はもちろん、豊田市内、愛知県内、遠くからは県外から訪れ、萩野地域の自然の中で活動を楽しんでいる。

今回は、その中の「トンカン木工塾」取材した。この取組みは、萩野地域をはじめとした農山村への移住希望者や山里に関心のある方々と、萩野地域との交流拠点づくりともなっている。大工道具の扱い方の基本を習得することができるだけでなく、実際に小屋づくりを行うことで、大工棟梁から「道具」「伝統」「しごと」「技」を学ぶことができる。参加者が生き生きと小屋づくりを行っている様子を見て、地域内外の人々の交流の楽しみと自然の中での活動の楽しみを伺うことができた。

萩野地域と移住希望者や山里に関心のある方々の交流の場をサポートする「萩野NPO結の家」。この取組みを通して、萩野地域、山里に関心を持ってくれる人が増え、交流の輪が広がっていったらうれしい。(小野詩織)



読者のみなさんの声をご紹介します

読者アンケートのご意見・ご感想の一部を紹介します!他にもたくさんのご意見をいただいています。QRコードでスマホからアクセスしてご覧ください。

- 表紙(籠林の不動滝と不動尊):とても素敵だと思います!QRコードで場所も分かり、行ってみたいと思います。
- 開校150年記念第4弾:三世代の語りは、年代によって様々な変化があり、面白いです。
- 名スポット紹介(Kaede Valley&Hill):知らない場所で、ぜひ行きたいと思いました。キャンプブームですので、すぐに一杯になりそうですね!
- あすけ通信とあすけ支所だよりの統合について:人にフォーカスすることで、その土地や自然などを紹介するコーナーは、ぜひ継続してもらいたいです。/あすこ紹介、足助の名スポット紹介は続けて欲しい。/統合することによって、足助の「過去の想い」「今の歩み」「未来への希望」が一体化できると良いですね。



ご意見ご感想